



東京都支部

日本プライマリ・ケア連合学会東京都支部

2022年12月 活動報告

日本プライマリ・ケア連合学会 東京都支部

支部長 藤沼 康樹

□ 第11回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会

日時：ライブ配信：2022年12月4日（日）9：00～17：40

オンデマンド配信：2022年12月12日（月）～2023年2月28日（火）

完全WEB開催

参加登録数：約330名

開催報告：

- ・ 一般演題は、口演13演題、ポスター18演題 計31の演題が登録され盛会となりました。
- ・ 優秀演題表彰として、大会運営委員会を中心に18名の多職種の評価による審査を行い、特に優秀な一般演題を表彰しました。
- ・ 当日は大会長講演はじめ、2つの教育講演、2つのシンポジウム、9つのワークショップ、2つのランチオンセミナー、キャリアcafé miniを企画開催しました。多くの企画がオンデマンド配信をしています。

□ 東京都支部役員会（オンライン会議）実施

- ・ 2022年9月17日（土）20:00～21:00
- ・ 2022年10月22日（土）20:00～21:00
- ・ 2022年11月27日（日）21:00～22:00
- ・ 2022年12月18日（日）21:00～22:00

（主な議題）

1. 東京都支部規約見直しについて
2. 関東甲信越ブロック地方会について
3. MSTFM (Metropolitan Society of Trainers of Family Medicine 首都圏家庭医療教育者の会) 2回目イベント開催について
4. その他 調整事項について検討

□ MSTFM (Metropolitan Society of Trainers of Family Medicine 首都圏家庭医療教育者の会) 第2回イベント開催について

- ・ 日時 2023年2月26日（日）10:00～15:00（予定） オンライン開催
- ・ イベント内容については現在調整中。近日中に参加募集開始予定です。

以上

埼玉県支部

関東甲信越ブロック埼玉県支部の活動報告

日本プライマリ・ケア連合学会 埼玉県支部

石田岳史

埼玉県支部では毎年11月に埼玉プライマリ・ケア連合研究会（兼総会）を開催してきました。2022年度は11月18日（金曜日）にハイブリッド形式（配信会場：大宮ソニックシティ）で開催し、100名を越える事前登録をいただきました。Webinarのおかげで埼玉県内の郡部や全国からの参加もあり成功裏に終えることができました。メインテーマを“これからのプライマリケアにおけるICT”とし、3つの教育講演と特別講演でプログラムを構成しました。

教育講演Ⅰは「在宅療養現場におけるカスタマーハラスメントの現状と課題 ～職員、利用者・家族を守るため～」というタイトルで埼玉県看護協会/与野訪問看護ステーション所長 古山千栄子先生から、今注目されている医療介護現場でのハラスメントについてお話いただきました。問題症例は情報共有し、複数で対応するなど現場で工夫できることを紹介していただきました。教育講演Ⅱは「ICT活用による新たな医療介護連携 ～地域での実践の紹介～」というタイトルで、大塚医院ファミリークリニックの大塚貴博先生にレクチャーしていただきました。専門性の高い症例に関して、遠隔地の専門医とICTで密に連絡をとり、患者満足度が高いperson-centered careの在宅医療のあり方を紹介していただきました。教育講演Ⅲは「SPart (Saitama Primary care art) 若手部会におけるオンラインツールを用いた医学教育」というタイトルで、さいたま市民医療センター総合内科 石川輝先生から埼玉県内の専攻医と指導医を繋ぐ遠隔教育の実際をお話いただきました。一つ一つの教育病院には1-2名しか専攻医が所属していませんが、県内の専攻医をつなげることで、皆で共通目標を確認しながら学んでいく重要性を教えてくださいました。コロナ禍で得た新しい学びの場だと感じました。

そして特別講演は「ポストコロナのプライマリケアにおけるICT」というタイトルで医療法人社団鉄祐会理事長 武藤真祐先生にご講演をお願いしました。すでに英国ではNHSがAIドクターを選択できるよう整備し、中国でもAIが診断し処方するシステムが存在するなど、世界のAIと医療のかかわりを紹介していただきました。さらにICTを用いてリアルワールドエビデンス創出ができるようなシステムの開発状況など、これからの医療の行き先を示していただきました。

コロナ対応に明け暮れた2年半でしたが、コロナがもたらした災禍は負の遺産だけでなく、地域医療に関わる医療・介護スタッフの連携、情報共有や役割分担が加速したという側面を再確認できました。今後も埼玉県から情報発信していきますので、よろしくをお願いします。

栃木県支部

2022年6月の総会にて栃木県支部長が交代となり、寺門道之先生から村井邦彦に引き継ぎが行われました。役員は以下の通りです。

役員	
支部長	村井邦彦
副支部長	矢吹拓、石川鎮清（旧：小谷和彦）
庶務担当役員	小堀誠
会計担当役員	小澤労
企画担当役員	鹿野耕太・石川由紀子・松山泰・前橋美歌
情報管理担当役員（HP作成、名簿）	寺田寛
会計監査役員	高橋昭彦 小松憲一
オブザーバー	小谷和彦、寺門道之
世話人	
石川鎮清、石川由紀子、小澤労、小谷和彦、小松憲一、小堀誠、鹿野耕太、高橋昭彦、寺門道之、寺田寛、前橋美歌、松山泰、村井邦彦、矢吹拓（14名）	
（名簿管理・ML管理係 寺門道之）	

県支部の主な活動としては以下の通りです。

- ・年1回の県支部主催講演会（9月頃）
- ・年3-4回の栃木PC研究会開催
- ・Tochigi Alliance of Generalists(TAG)支援 ポートフォリオ研究会

県支部の課題は、県支部会員の登録と、活動の共有です。県内に勤務・在住のPC連合学会会員のうち、栃木支部に未登録の方が多数おられると思われます。また、若手医師の栃木PC研究会への参加もぜひ促してゆきたいところです。県内のプライマリ・ケアを志す者が一体的に活動する場として、年1回の栃木支部企画を今回より始めました。

栃木支部HP

<https://plaza.umin.ac.jp/jpcatc/?fbclid=IwAR3n1suCZiYoBT1821B6IAfiMpu1IU77Ue6dg3Em8BE28SvWRpMxdd0jS6c>

栃木PC研究会

<https://plaza.umin.ac.jp/jpcatc/tpck/index.html>